



川内青年会議所 10月例会

薩摩川内市の未来展望

令和8年10月8日

薩摩川内市長 田中 良二

目次

1

薩摩川内の未来創生

- ・ 就任当時の課題
- ・ 本市の中期的展望

2

第3次総合計画の策定と推進

- ・ 計画策定の経緯
- ・ 未来のまちの姿

3

持続可能なまちづくり

- ・ 本市におけるSDGsの取組
- ・ 川内港臨海ゾーン整備

4

サーキュラー都市の実現に向けて

- ・ サーキュラーパーク九州
- ・ AIデータセンター

An aerial photograph of the Sagami River basin. The foreground shows lush green mountains and a small town. The middle ground features a wide river flowing through a valley with a large town. The background consists of distant, hazy mountains under a clear blue sky.

薩摩川内の未来創生

1 薩摩川内の未来創生

1 就任当時の課題

令和2年11月 市長就任

当時の課題

- 【人口減少・少子高齢化】 労働者不足、地域活力の低下
- 【経済社会システムの変化】 感染症拡大、線形経済から循環経済への転換
- 【川内(火力)発電所の廃止】 雇用の減少、地域経済への影響
- 【地域経済の再構築】 アフターコロナを見据えた地域経済の復興
新たな産業用地への企業立地の推進



SDGsの達成、カーボンニュートラルの達成のため、
産業分野、市民生活など、あらゆる分野において

「技術革新」や「変革」を起こす

「サーキュラー都市・薩摩川内市」の実現へ

市長公約「未来創生10ビジョン」

「誰一人取り残さない」SDGsの理念の下、
未来における更なる発展と市域全体の均衡ある発展を図る

未来創造ビジョン

- 1 少子化対策・子育て支援
- 2 SDGs・
カーボンニュートラル・
スマートシティ
- 3 産業経済
- 4 文化・スポーツ・観光
- 5 防災・社会基盤

地方創生ビジョン

- 1 地域デザイン
- 2 人材の育成・活躍
- 3 コミュニティ・
市民活動・環境
- 4 健康・福祉
- 5 市役所改革

1 薩摩川内の未来創生

3 SDGsの達成に向けて



薩摩川内市未来創生SDGs カーボンニュートラル宣言



美しい自然と、古い歴史を誇りとする薩摩川内市は、人口減少・少子高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、SDGsの理念を理解し、共通目標としてその達成に向けた取組を推進することで、あらゆる人たちが活躍できる多様性と包摂性のある社会の実現や持続可能で魅力的なまちづくりを進めていくことを、宣言します。

1

SDGsにおける「誰一人取り残さない」との理念の下、経済・社会・環境の三側面における統合的な取組を、市民・事業者等と連携しながら推進することにより、持続可能で魅力的なまちづくりを目指します。

2

国際社会の一員として、脱炭素社会の実現を目指し、2050年までに本市の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ薩摩川内」の実現に、市民や事業者等と一体となって取り組みます。

1 薩摩川内の未来創生

3 SDGsの達成に向けて

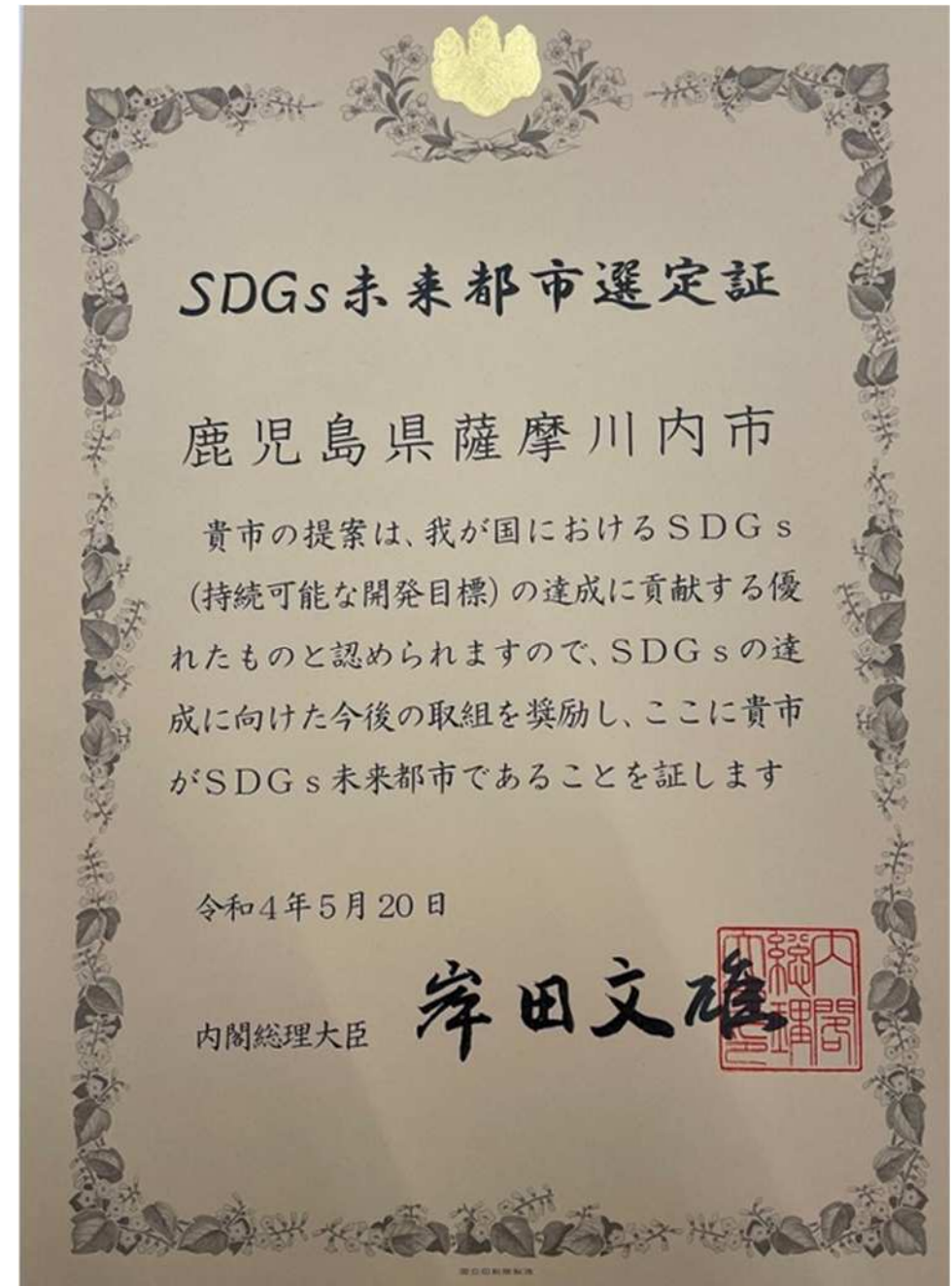
令和4年5月20日

「SDGs未来都市」に選定

特に経済・社会・環境の三側面における
新しい価値創出を通して、**持続可能な
開発を実現するポテンシャルが高い
都市・地域として選定**



▲ 選定証授与式



アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期的展望

(令和4年2月14日策定)

SDGs・カーボンニュートラル、デジタル社会構築の
理念の下、「**5つの未来創生**」の実現を目指す

① 新ビジョンの策定

② 循環経済・産業拠点の創出

～川内港臨海ゾーン整備～

③ 雇用の創出

④ 交流の創出

⑤ 甕島医療体制の整備

An aerial photograph showing a coastal town nestled in a valley, surrounded by lush green mountains. A large body of water, likely a bay or inlet, is visible in the background, with a bridge spanning across it. The town is densely packed with buildings, and the surrounding landscape is a mix of green fields and forested hills. The sky is clear and blue, suggesting a bright day.

第3次総合計画の策定と推進

2 第3次総合計画の策定と推進

1 新ビジョンの策定

新ビジョンの策定

1. 第3次総合計画 策定(計画期間:令和7~16年)

令和6年 3月 総合計画基本構想 議会上程

市議会特別委員会

(総合計画基本構想審査特別委員会)設置

4月 市議会特別委員会による審査

9月 基本構想の議決

令和7年 3月 薩摩川内2034ビジョン策定

第1期実施計画 決定

令和8年 3月 第2期実施計画 決定

2. 48地区コミュニティの地区振興計画 改訂(計画期間:令和6~10年)

令和6年 4月 第5次地区振興計画 改訂

3. 薩摩川内スマイルアクション50 策定(実施期間:令和7~10年)

令和7年 3月 薩摩川内スマイルアクション50策定



2 第3次総合計画の策定と推進

2 未来のまちの姿

- ▶ 市民意見の広聴等を踏まえ、本市が「**目指すまちのイメージ**」と10年後(2034年)の「**未来のまちの姿**」を設定



2 第3次総合計画の策定と推進

3 薩摩川内スマイルアクション50

薩摩川内スマイルアクション50

「楽しく、笑顔がつながり、人が集うまちづくり(スマイルコミュニティ)」
「人と経済が循環するまちづくり(サーキュラー都市)」の実現を目指す

期間 **令和7年度～10年度までの4年間**

構成

(1) 社会スマイル事業

少子化対策・子育て支援、ダイバーシティ・社会教育 など

(2) 環境スマイル事業

自然環境保全、次世代エネルギー など

(3) 経済スマイル事業

サーキュラー都市経済、川内港臨海ゾーン開発 など

(4) 実現スマイル事業

スマートデジタル、財政健全、チーム薩摩川内

※第3次総合計画の推進を補完するもの

2 第3次総合計画の策定と推進

4 薩摩川内市DEI宣言

薩摩川内市DEI宣言

ディーイーアイ



(Diversity:ダイバーシティ)

(Equity:エクイティ)

～多様性を尊重し、公平性が確保され、

(Inclusion:インクルージョン)

誰もが安心して参加できる包摂性のある社会づくりに向けて～

年齢、性別、障害の有無、人種、国籍、文化的な背景等の違いにかかわらず、すべての市民が公平に、その個性と能力を発揮する機会を得るとともに、お互いを尊重し合うことで、笑顔がつながり、安心して自分らしく暮らすことのできる「心ゆたかな暮らし(Well-Being)」の実現を目指し、あらゆる施策にダイバーシティ社会形成の視点を盛り込み、誰もが薩摩川内市に住み続けたいとなるような、多様性(Diversity:ダイバーシティ)・公平性(Equity:エクイティ)・包摂性(Inclusion:インクルージョン)のある社会づくりの推進を、宣言します。

D

あらゆる人々が差別を受けることなく、人権の尊重による多様な生き方を自らの意思で選択し、個性や能力を発揮できる社会づくりを目指します。

E

市民や事業者等と連携しながら、社会的障壁を取り除き、誰もが参加し、その人らしく活躍できる環境づくりを進めます。

I

家族や地域のつながりを深め、多様な人々の交流を生み、すべての市民が互いに支え合いながら、笑顔で、健やかに安全に安心して暮らせる多様性を活かした地域づくりを目指します。

令和7年8月26日

薩摩川内市長

田中良二

An aerial photograph showing a coastal town nestled between a large bay and a range of mountains. The town is densely packed with buildings, and the bay is filled with water and some smaller islands. The mountains in the background are covered in green vegetation. The text "持続可能なまちづくり" is overlaid in the center of the image.

持続可能なまちづくり

3 持続可能なまちづくり

1 本市におけるSDGsの取組

薩摩川内SDGs
チャレンジロゴ▶



■薩摩川内市SDGsチャレンジ協議会

SDGs推進に向けた**情報共有・連携体制を強化**

■薩摩川内市SDGs・カーボンニュートラル登録制度

産学官金連携による取組の拡大と活性化

■薩摩川内市SDGs

イノベーショントライアルサポート事業

先端技術の実証実験を通じた**新産業創出と地域活性化**

■薩摩川内SDGsチャレンジ事業

2050年カーボンニュートラル実現に向けた地域での取組



【YouTube】



3 持続可能なまちづくり

2 川内港臨海ゾーン整備

アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期的展望 循環経済・産業拠点の創出～川内港臨海ゾーン整備～

1 川内港整備の取組

唐浜地区国際物流ターミナル整備事業の促進

令和元年 11月 港湾計画改定 水深12mの耐震強化岸壁等の計画位置付け

川内港整備促進期成会 設立

令和3年 3月 国土交通省による新規事業化

令和4年 4月 川内港国際物流ターミナル着工式

令和8年 3月 **唐浜地区国際物流ターミナル
暫定供用開始**

令和9年 秋頃 ガントリークレーン供用開始見込み

◆ 引き続き、本事業の整備促進・早期完成に向け、
国土交通省や県に要望を行う



令和8年3月 川内港航空写真

3 持続可能なまちづくり

2 川内港臨海ゾーン整備

2 川内港久見崎みらいゾーン整備

【事業目的】

川内港や南九州西回り自動車道に近接した地理的特性・優位性を活かし、SDGs・カーボンニュートラルなどの**持続可能な循環経済社会の実現や地域の活性化**等を目指す。

【分譲の経緯】

令和5年 1月 分譲予約開始

11月 1工区の造成工事完了

令和6年 2～3月 3社に分譲

3月 2工区の造成工事完了

令和7年 4～5月 2社に分譲

令和8年 3～5月 分譲予約(第3次募集)

6月 コマツカスタマーサポート(株)薩摩川内支店 竣工



◇ 分譲用地16.7haのうち、約8.3ha売却済

3 持続可能なまちづくり

2 川内港臨海ゾーン整備

3 南九州西回り自動車道(阿久根IC～薩摩川内水引IC間)

物流効率化、観光振興、災害時の代替ルート確保

■ 主な取組

令和5年 10月	設計説明会開催
10月～	用地幅杭設置
令和6年 4月～	用地調査開始
令和7年	用地買収開始
令和8年	調査設計、用地買収、工事推進



4 川内宮之城道路整備

川内港臨海ゾーンと高速交通網とのアクセス向上

■ 主な取組

令和4年 12月	川内宮之城道路建設促進期成会設立
令和5年 8月	決起大会を初開催(以後毎年開催)
令和8年 1月	期成会初 鹿児島県への要望実施
2月	九州地方整備局への要望を実施



An aerial photograph showing a city nestled in a valley, surrounded by lush green mountains and a winding river. The city is densely packed with buildings, and the surrounding landscape is a mix of green fields and forested hills. The sky is clear and blue, with some distant mountains visible on the horizon.

サーキュラー都市の実現に向けて

「さつまсенだいGX戦略地域整備基本構想」について



4 サークュラー都市の実現に向けて

1 サークュラーパーク九州

主な取組

令和4年 2月 川内発電所の跡地活用に関する基本協定を締結
(本市、九州電力(株))

4月 川内(火力)発電所 廃止

7月 サークュラーパーク九州の実現に向けた連携協定締結
(本市、九州電力(株)、(株)ナカダイホールディングス、
早稲田大学、(株)鹿児島銀行)

令和5年 7月 サークュラーパーク九州(株) 設立

11月 九州・台湾クリエイティブウィーク in 薩摩川内の開催

令和6年 2月 サークュラーエコノミー実証事業の推進に向けた連携協定締結
(本市、サーキュラパーク九州(株)、九州電力(株)、鹿児島大学)



◀ サークュラーパーク九州の
実現に向けた連携協定の締結
薩摩川内市域を中心とした
サーキュラーエコノミー実証事業
の推進に向けた連携協定の締結 ▶



4 サーキュラー都市の実現に向けて

1 サーキュラーパーク九州

主な取組

- 令和6年 4月 **サーキュラーパーク九州(株) 操業開始**
新たな町名「サーキュラーパーク一丁目、二丁目」の設定
- 8月 **サーキュラーエコノミーに関する車座対話に市長出席**
- 9月 経済産業省の循環経済に関する委託事業に参画
- 令和7年 4月 **サーキュラーパーク九州(株)敷地内に実証事業拠点
(鹿児島大学サテライトラボ)を設置**
- 9月 **AIデータセンター準備法人の設立に関する共同リリース**
- 令和8年 2月 「Circular Challenge Week in 薩摩川内」の開催
- 6月 経済産業省の循環経済に関する委託事業に参画(3年連続)



▲サーキュラーエコノミーに関する車座対話への出席



▲サーキュラーエコノミー実証事業拠点の開設



▲Circular Challenge Week in 薩摩川内の開催

4 サークュラー都市の実現に向けて

2 AIデータセンター

「サーキュラー都市」の実現に向けた次なる展開

国内最大級のAIデータセンター開設に向けた取組

令和8年2月 早期実現に向けた覚書の締結

(本市、鹿児島県、凱信数基(株)、

サーキュラーパーク九州(株)、九州電力(株))

4月 国の「GX戦略地域制度」の有望地域に選定

7月 立地協定調印式 実施(本市、凱信数基(株))

AIデータセンター立地に係る協定締結

9月 GX戦略地域制度(DC集積型)に認定

10月 「さつませんだいGX戦略地域整備基本構想」を公表



令和8年度中に着工、令和15年3月までに350MWを稼働予定
地域における約100名規模の新規雇用創出

投資予定額: 約8,500億円(建物・構造物等)

敷地全体で約2兆円相当のAIデータセンター関連投資の創出見込

AIデータセンター誘致と「サーキュラー都市」の関係性

☑ サーキュラー都市との位置づけ

- ① 単独の産業誘致ではなく、サーキュラー都市戦略の中核的な実装案件
- ② データセンター事業における廃棄物削減・再利用・脱炭素化をサーキュラーパーク九州(株)等と連携して検討
- ③ GX・デジタル・資源循環を組み合わせた「次世代産業拠点」の形成

☑ 政策的な意味合い

- ① エネルギー供給拠点という強みを活かした「高付加価値産業」
- ② 期待される効果: 情報サービス産業や関連産業の立地・集積の促進、地域経済の活性化、雇用の創出
- ③ 循環経済・GX・デジタルを束ねる「象徴的プロジェクト」



環境と経済の「好循環」を創出

AIデータセンター立地による効果

1. 経済効果

(1) 建設投資の増加

- ・データセンター建設への一過性の建設投資の増加だけでなく、関連産業が集積することにより、継続的な建設投資の増加が期待される。



(2) 地元企業への発注機会

- ・建設投資だけでなく、設備管理・運営、システム管理・保守、セキュリティなどの雇用も創出される。

(3) 固定資産税等の財源効果

- ・固定資産税÷投資額1.4%



2. 地域に波及する効果

(1) AI、DC関連産業の人材育成

- ・AI、DC分野を支える高度人材の育成
- ・産学官連携による専門人材の確保・定着

(2) 資源循環産業の活性化

- ・DC機器のリユース・リサイクル需要の創出
- ・企業との連携による循環産業の活性化

(3) 企業立地と投資の促進

- ・新たな雇用と経済波及効果の創出

(4) 港湾機能の価値向上

- ・川内港の活用機会の拡大、競争力向上
- ・関連する道路・物流ネットワークの強化

(5) 電力・通信インフラの充実

- ・将来の産業立地を支える基盤強化
- ・企業や市民のデジタル環境向上

(6) 行政DXと地域ブランド力の向上

- ・先進的なまちとしての認知度向上



薩摩川内市民憲章

美しい自然と、古い歴史を誇りとする
わたしたち薩摩川内市民は、

やさしくすれば、心はかよう。
はなしをすれば、だれでもわかる。

考えさえすれば、みちはひらける。
やりさえすれば、かならずできる。

という信条をもって
明るく豊かなまちをつくります。

